新米・新玉葱・新じゃがいもを給食で

１０月５日、新米・新玉葱・新じゃがいもの贈呈式が役場で行われ、ながぬま農業協同組合（成田正夫代表理事組合長）と長沼町玉葱生産組合（真田隆弘副組合長）、長沼町園芸組合連合キタアカリ部会（阿達昌之部会長）から、学校給食用の新米「ななつぼし」５００kg、新玉葱１００kg、新じゃがいも「キタアカリ」１００kgが贈られました。

この事業は、学校給食を通じて町内産の農産物を提供することで、農業への関心を高めてもらうことを目的として毎年行われているものです。成田代表理事組合長は、「今年は干ばつの影響から、各農家の皆さんが作物の品質保持に大変苦労されました。児童・生徒の皆さんには、ぜひ余すことなく美味しく食べていただきたいです」と話されました。

「たづ鳴きの里」番組ＤＶＤを贈呈　ＨＴＢ

１０月１１日、ＨＴＢ（寺内達郎代表取締役社長）から、本年３月に開催された第６２回科学技術映像祭で、開局以来初となる内閣総理大臣賞を受賞したドキュメンタリー作品「たづ鳴きの里～タンチョウを呼ぶ農民たちの１５００日～」の番組ＤＶＤが、町内の全ての小学生へ贈呈されました。

寺内代表取締役社長は「タンチョウが飛来したことは、町としても大きな財産の１つであるのは間違いなく、この作品は町の取組があって一緒に作り上げてきたと感じています。子どもたちには、環境豊かな町に誇りを持ってほしいです」と話されました。

畑の中心で医療従事者へ紡ぐ感謝のメッセージ

９月上旬、31区のとあるほ場に、「コロナにマケナイ　ドクター・ナース　アリガトウ」というメッセージが刻まれていました。

制作したのは、ほ場の主である加藤幸一さん（31区）。用意した設計図をもとに、トラクターに乗って出来上がりを想像しながら、エン麦の茂る畑をすき込み、メッセージを完成させました。

加藤さんは昨年、新型コロナウイルスの影響で航空会社などが大変な思いをする中、少しでも自分に何かできないかと考えたとき、新千歳空港に着陸する飛行機が風向きによってとても低く飛ぶことを思い出し、畑にメッセージを制作しようと思い立ったそうです。

制作した「JAL　ANA　ｂガンバレ　タンチョウの里」のメッセージは、JALの乗客が運よく見つけ「Twitter」で発信。2,700を超えるリツイートがあり話題となったほか、このメッセージがJALにも伝わり、昨年12月には加藤さんへ感謝状が贈られました。

今年は色を濃く、より鮮明になるように工夫したとのことで、「高いところから確認するすべがなく、完成するまで半信半疑のままやっていたけれど、上手くいって良かった。次にやるなら漢字にも挑戦してみたい」と話されました。

社会貢献で感謝状　㈱神部組

９月２８日、齋藤町長から㈱神部組へ、感謝状が贈呈されました。

この感謝状は、石狩川改修工事のうち嶮淵川築堤左岸盛土工事の一環として、長沼中学校のグラウンド整備工事を自発的に実施し、町民が利用する公共施設の保全に尽力され、安全で安心な生活環境の形成に多大な貢献をされたことによるものです。

タンチョウレンジャー　秋編開催

１０月３日、舞鶴遊水地で「タンチョウレンジャー秋編」が開催され、町内の小学生７名が参加しました。

子どもたちは、水田で落穂をついばむタンチョウをバスから観察した後、遊水地の中の生き物探しを行いました。

生き物探しは、鶴居村での同様の活動と同じ時間でどれだけ発見できるか競う形で行われ、子どもたちは楽しそうに水生昆虫や魚を網で捕まえていました。この日の活動結果は、今月２３日に開催予定の鶴居村の子どもたちとのオンライン交流会で発表されます。

Check it out!! ユーチューブ YouTubeチャンネル を開設しました！

長沼町の魅力を発信するため、産業振興課の「YouTubeチャンネル」を開設しました！

現在、町の紹介動画・企業インタビュー動画・農作物の収穫動画など全15本の動画をアップロードしています。今後も町内産業を中心に、不定期で動画をアップロードしていく予定です。ぜひご覧ください！

■視聴方法

動画共有サイト『YouTube』で「長沼町産業振興課」と検索するか、右のＱＲコードまたは町ホームページトップのリンクバナーをクリックすると動画ページにアクセスできます。

【問合先】役場企業誘致推進室（☎76-8019）

チャンネル登録と高評価 よろしくお願いします☆